

新型コロナウイルス感染症予防接種を受けられる方へ

新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルスに感染することによって起こります。新型コロナウイルス感染症にかかった人が咳やくしゃみなどをするにより、ウイルスを含む飛沫又はエアロゾルと呼ばれるさらに小さな水分を含んだ状態の粒子を吸い込むか、感染者の目や鼻、口に直接的に接触することにより感染します。

発症すると、熱や咳などの風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

予防接種の効果

新型コロナワクチンについては、国内外の研究などにより、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の入院や死亡等の重症化等を予防する効果が認められたと報告されています。なお、予防接種を受けてから免疫がつくまでには1~2週間程度かかり、免疫がついても発症を予防する効果は100%ではありません。また、時間が経過すると発症予防効果は低下することが知られており、こうした効果の持続期間についても気をつける必要があります。

できない方	・接種前に発熱（37.5度以上）している方 ・重篤な急性疾患に罹っている方 ・新型コロナワクチンの成分によってアナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫等）を起こしたことがある方 ・その他、予防接種を受けることが不適当と医師が判断する方
接種に注意が必要な方	・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患のある方 ・過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーを疑われる症状がでた方 ・過去にけいれんの既往のある方 ・過去に免疫不全と診断されている方 ・近親者に先天性免疫不全症の方がいる方 ・新型コロナワクチンの成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

新型コロナ予防接種の副反応

- (1) 主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。接種後に気になる症状があった場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。
- (2) ごくまれではあるものの、ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。
- (3) ごくまれではあるものの、mRNAワクチン接種後にギラン・バレー症候群が報告されています。接種後、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

副反応が起こった場合

ワクチン接種後の発熱や痛みに対し、市販の解熱鎮痛薬（アセトアミノフェン、イブプロフェン、ロキソプロフェン等）で対応いただけます。ただし、症状が重い場合や長引く場合は、医療機関を受診され、その旨を下記まで御連絡ください。

インフルエンザ予防接種を受けられる方へ

インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状もみられます。高齢者や免疫力の低下している方では二次性の肺炎を伴う等、重症になることがあります。季節性インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。日本では、例年12月～3月が流行シーズンです。

予防接種の効果

インフルエンザの予防接種を受けてから、インフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は、約5か月間とされています。また、予防接種を受けていてもインフルエンザが発症することもあります。インフルエンザによる重症化を抑制する効果があるといわれています。

できない方	・ 接種前に発熱（37.5度以上）している方 ・ 重篤な急性疾患に罹っている方 ・ インフルエンザワクチンの成分によってアナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫等）を起こしたことがある方 ・ その他、予防接種を受けることが不適当と医師が判断する方
接種に注意が必要な方	・ <u>心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患のある方</u> ・ 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方および全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方 ・ 過去にけいれんの既往のある方 ・ 過去に免疫不全と診断されている方 ・ 近親者に先天性免疫不全症の方がいる方 ・ 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患の方 ・ インフルエンザワクチンの成分または鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対してアレルギーを呈するおそれのある方

インフルエンザ予防接種の副反応

- (1) 接種後、注射の跡が赤くなったり、はれたり、痛んだり、微熱や寒気、頭痛、全身のだるさなどがみられる場合もありますが、2～3日のうちに治ります。
- (2) まれに、30分以内にショック、アナフィラキシー様症状（じんましん、呼吸困難等）があらわれる場合もあります。